

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2018年 6月 12日

## 申24号「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」 に関する申し入れ**団体交渉①**

6月11日13:30～、申24号『「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」に関する申し入れ』団体交渉を行いました。詳細に関しては地本業務部にお問い合わせください。

### 【共通】

(1項)今施策におけるメリットと、今施策を実施しない場合のデメリットを明らかにすること。また、標準数見直しとなる根拠を明確にすること。

(回答)生産年齢人口の減少に伴う設備メンテナンス従事員の確保が難しくなる中で、将来にわたりメンテナンス体制を維持継続していくためにも、より効率的なメンテナンス手法を展開していくものである。また、必要な要員は確保していく考えである。

【ポイント】・技術継承などは継続して教育などして行っていく。体制は変わるが(教育に関しては特に)濃くしてアウトソーシングしながらやっていく。

- ・線路を直接確認することが出来る体制づくりについては、一致している。
- ・標準数に関して、この施策とエルダー施策を実施し、5年間くらいはやっていく。閑散線区の業務移管については5年後くらいに発揮してくる。(実施しないと仙台支社で約50人標準数割れとなる)
- ・モニタリング装置による各職場△3の根拠としては、軌道変位、材料変位もとれて、徒歩巡視の頻度、回数を減らす。その分の実績をとって、見直している。

(2項)仙台支社管内における設備21施策で実施するとされた設備改良の進捗、設備管理システムのデータや図面の精度について、この間の現状と課題、今後のスケジュールを明らかにすること。関連し、安全かつ効率的な設備、体制、環境を整えること。

(回答)ロングレール化やPCマクラギ化などの設備強化については、計画的に順次実施しているところであり、軌道の強化は着実に進んできている。

また、保線業務においては、保線設備管理システム(TRAMS)を活用した業務運営を実施してきており、そのデータ更新についても、工事施工の都度、実施しているところである。

- ・仙台支社内で、2級線区はほぼ100%PCマクラギ化している。3～4級線は、33年かけ100%目指しているが、この14年で4割がPC化。(今、折り返し地点)今までは、悪いところから行っていたが、一區間ごと連続してPC化して、スピードアップに繋がっている。2級線区のPCも悪くなっているのを新しくしている。5カ年計画で年間1万本の工事を行っている。(支社内で約40万本弱程度)
- ・不要資産については、計画を立てて、スリム化している。
- ・リフレッシュ工事に関しては、地場の作業員の方の業務の平準化、バランス等で難しいので、夜間、集中的に取り組む。(平準化して作業員の方を確保)
- ・特に東北本線福島～郡山間において夜間時間帯の間合いが取れずに特認工事が発生しているが、対応は難しい。しかし、本社も含めて重要視し、貨物会社への打診、調整は目指している。考えは一致。
- ・徒歩巡視に関しては、(原則線閉等)より良い安全な方をとって行う。(P社への示し含め)
- ・PC化について、作業環境も理解のうえ、計画。
- ・弱小レールに関しては、弱点箇所として、負の財産を無くしていく。